

やまぐち有機

「山口市有機農業推進協議会」の総会は8月頃とさせていただきます

昨年の11月4日に発足して、2年度目の平成30年度を迎えています。本来ですと総会を開催すべきところですが、これからの時期は田植えなど農繁期を迎えます。そのため農閑期となる8月頃に総会を開催したいと考えています。

そこで本協議会の広報紙「やまぐち有機」（第2号）で、昨年度の事業報告や今年度の事業計画を紹介させていただくこととしました。

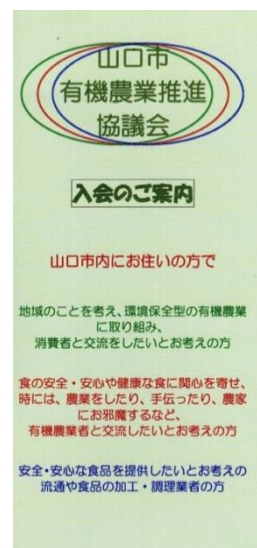
昨年度の設立総会後の事業としては、生産者会員を対象とする「有機農業者の実態調査」の実施をはじめ「有機農業と有機 JAS 制度を知る勉強会」や「有機農業技術交流会『ポカシ肥づくり』」の開催を行いました。詳しくはこの広報紙で報告させていただきます。

平成30年度の事業計画としては、現在、市の方で実施している中央公園での「おでかけマルシェ」に「山口市有機農業推進協議会」として参加することにしました。このマルシェは毎月第一日曜日の午前9時から午後3時まで開催されているもので、既に会員も出店しておられます。希望される会員にこのマルシェへ出店していただくというものです。参加を希望される生産者の方は、**6月3日（日）午前9時に**、会場の中央公園にお集まりいただくことにしました。

また今年度の事業として、様々な課題のある中で、山口市における産直提携の具体化を検討していきます。皆さんに協力いただいた「有機農業者の実態調査」では、条件さえ整えば、自家用農作物や例え栽培したことの無い作物であっても販売用として栽培してもよいとの意向が示された人は、19人(63.3%)もいらっしゃいました。生産者と消費者が複数であるため、金銭的な処理が複雑になる、生産者に農産物を集荷・配達する余力がない、山口市の市域は余りにも広いため数ヶ所の拠点が必要であるなどといった多くの課題はあるものの、山口市における産直提携を進めていきたいと考えています。皆さんからの積極的なご提案、ご意見を求めています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

なお役員にカンパをお願いし、入会申込のリーフレットを作成しました。入会者確保にご協力をお願いします。リーフレットご入り用の方は、事務局までご連絡をお願いします。

【文責：東孝次】



有機農業者の実態調査結果

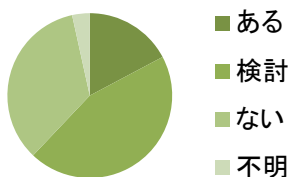
平成 29 年度の事業として実施した生産者会員を対象とした「有機農業者の実態調査」は、33 人から回答をいただき、うち有効回答数は 30 でした。お忙しいところ、複雑な調査にも関わらず、ご協力いただきありがとうございます。その結果の一部をお知らせします。

- ・回答者の年齢は、36 歳から 86 歳で、平均年齢は 66.4 歳であった。回答者の 4 分の 3 以上の方が、60 歳代以上であり、4 割以上の方が、70 歳代以上である。高齢化が進んでおり、早急の対応が必要である。

- ・有機で栽培されている耕地（田・畑）面積については、田の面積は 1 a～900a と大きな幅があり、その平均は 57.4a で、畑の面積は 0.4a～400a と大きな幅があり、その平均面積が 34.1a であった。

- ・回答のあった耕地の市全体に対する割合は、それぞれ田 0.28%、畑 2.63%で、合計面積 0.43%となっている。

- ・産直提携や販売先の確保などにより、出荷量や販売先が確実な農産物について、自家用として栽培している作物を販売用とする意向の有無を尋ねた。その結果、18 人



- （60.0%）に条件さえ整えば、自家用農作物を販売用として栽培してもよいとの意向が示された。
- ・産直提携や販売先の確保などにより、出荷量や販売先が確実な農産物について、例え栽培したことのない作物でも、販売用として有機で栽培を拡大する意向の有無を尋ねた。その結果は、6 割以上の 19 人（63.3%）に条件さえ整えば、栽培したことのない作物でも販売用として栽培してもよいとの意向が示された。

- ・産直提携や販売先の確保などにより、販

売先が確保されれば、販売用として有機で栽培される耕地面積を拡大してもよいと回答された

のは、半数の 15 人であった。

- ・拡大意向のあった 15 人にその増加面積を記入してもらったところ、12 人から回答があった。

- ・田については、9 人から回答が寄せられ、その面積は 1 a～1,500a と大きな幅があり、その平均は 234.9a であった。

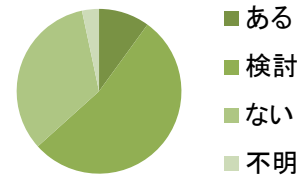
- ・畑については、8 人から回答が寄せられ、その面積は 1 a～600a と大きな幅があり、平均面積が 163.9a であった。

- ・それぞれの耕地面積の合計は、田は 21.14ha、畑は 13.11ha、耕地 34.251ha であり、山口市の経営耕地面積（平成 28 年 4 月 1 日現在）と増加後の有機で栽培されている耕地の割合は、それぞれ、田 0.63%、畑 6.00%、耕地面積 0.96%となり、平成 30 年度までの国の目標の 1%をほぼ達成することができる。

- ・出荷先について最も多いのは「直売所（道の駅など）」で 15 件（50.0%）であった。

- ・有機質肥料について最も多くの人が使っている肥料は「米ヌカ」で 21 件（70.0%）であった。

- ・有機で栽培されるに当たって気になることについて、自由に記入してもらったところ、13 人から意見が寄せられた。



有機農業と有機 JAS 制度を知る勉強会を開催

平成 29 年度の事業として平成 30 年 3 月 22 日、「有機農業と有機 JAS 制度を知る勉強会」を、市役所・会議棟・B 会議室において開催しました。既に有機農業とエコ 100、有機 JAS の関わり、有機の作物の表示制度などについてはご存知のことだとは思いますが、会員の共通認識を深めるために開催することとしました。講師は、エコやまぐちの認証機関や有機 JAS の検査員を務められて、本協議会の役員でもある仁保地区の久保紀夫（としお）さんをお願いしました。



環境保全型農業・有機農業の沿革から始まり、有機農業の日本農林規格、有機 JAS やエコ 100 などの取得方法、有機 JAS で許容される肥料及び土壌改良資材、有機農業・環境保全型農業で生産した農産物の表示等について、素人の私でも理解できるよう、分かり易い解説をされました。参加者は 22 名あり、有機 JAS 制度などを確認する有意義な時間を過ごしまし

た。当日使用した資料につきましては、事務局の配慮により、会員の皆さんへ送付させていただきます。



なお本協議会では、有機農業推進法（平成 18 年 12 月制定）にある「化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと並びに遺伝子組換え技術を利用しない」ことが、有機農業の基本と考えています。今回の勉強会は、有機 JAS の取得を特に推奨しているものではなく、有機農業に関連する情報について学ぼうという趣旨で開催したものです。

【文責：東孝次】



有機農業技術交流会「ポカシ肥づくり」を開催

平成 29 年度の事業として平成 30 年 4 月 1 日、「有機農業技術交流会『ポカシ肥づくり』」を、下鯖山公民館において開催しました。有機農業技術の交流の一環として実施したもので、突然の開催となったものの、24 名の参加がありました。微生物の働きで作る「えひめ AI(あい)」、米ヌカを低温発酵させる保田ボカシ、おさば有機農業研究会のボカシ肥料の作り方など、様々な堆肥の作り方などの紹介や主な肥料の成分比、特徴の説明がありました。座学の後には会場を変え、ボカシ



肥作りの実技を学びました。参加者らは 20 kg ずつもらい「早速畑で試してみたい」と話していました。

【文責：原田正暁】

良報 有機栽培でお困りの方へ

有機栽培でお困りの方へ良報です。有機農業の研修については、「なかむら自然農園」の中村進卓さんが対応して下さるそうです。研修を受けたい方は、中村さん (TEL:083-921-2751) へご連絡ください。

メール配信 始めます！

Eメールをお使いの会員の皆さんには、申込時に既にアドレスを記入いただいているところですが、改めてメール配信のご希望を伺うこととしました。事務局体制が不十分の上、予算もない中での情報提供には難しさを抱えています。そのため、なかなか会員のみなさんへ迅速に情報をお伝えできないでいます。この問題点を少しでも解消するため、会員の一部の方のみの対象とはなりますが、メール配信の体制づくりを進めたいと考えています。メール配信での情報提供を希望される方は、次のアドレスまでその旨お知らせをお願いします。 noujin5283@ae.auone-net.jp (事務局:東)

原稿・意見・感想等を募集中

皆さんからの原稿や意見・感想などを募集しています。奮って事務局までお寄せください。
皆さんで充実した内容にしてまいりましょう！

山口市有機農業推進協議会

【事務局】

山口市農林政策課 TEL:083-934-2817 FAX:083-934-2651 E-mail:n-seisaku@city.yamaguchi.lg.jp